

地域が主体となったサルの被害防止対策2

1 要旨

○下関市豊北町大字田耕中河内集落では、サルによる農作物被害（野菜）の低減を図るため、地域ぐるみによる大型囲いわなの設置等を実施し、農家の生産意欲の向上を目指す。

2 地区の概要

地区名	下関市豊北町大字田耕 中河内集落
戸数	34戸（うち農家29戸）
耕作面積	田24.6ha
主な作物	水稲、野菜など
加害獣種	サル
対策実施年度	平成30年度



3 被害の状況と課題

- 近年、野菜を中心にサルによる農作物被害が頻発しており、農家の生産意欲が低下している。
- 侵入防止柵の設置やモンキードックの導入を試みているが、十分な効果が得られず根本的な対策が必要な状況にある。
- 放任果樹が集落内へサルを誘引している実情があり、地域ぐるみによる対策が必要な状況にある。

4 取組内容

(1) 推進体制の整備

- 被害防止活動に取り組むための推進体制の整備と役割の明確化
 - ・下関市：協議会の運営・地域アドバイザー
 - ・下関市鳥獣被害防止対策協議会：大型囲いわなの導入設置
 - ・下関農林事務所：鳥獣被害防止・駆除に関する助言
 - ・豊北地区猟友会：捕獲体制支援（銃器・わなによる駆除等）
 - ・田耕中河内自治会：情報提供と被害対策への協力

(2) 活動方針の作成

○ 市当局と地域住民が連携し、「集落環境調査」を基に3か年の活動方針を作成した。

(3) サル生息状況の把握と大型囲いわなの設置

○ 県が作成したサル生息分布図に基づき、豊北町内の生息状況を把握し、加害レベルの高い群れに対して、適切な位置に大型囲いわなを設置した。

○ 地元集落に対し、大型囲いわな設置に対する理解と協力を求め、ルール化した。(土地の無償提供、設置期間、役割分担など)

※大型囲いわなの管理 : 猟友会

※設置わな周囲の草刈り・餌の確保 : 地元



大型囲いわなの設置



地元による防護柵点検活動

5 取組の成果

○ サル用大型囲いわなの設置（H30年9月）により62頭を捕獲し、被害額が約2割減少した。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
サル	809	730	▲79	660	▲149	660	▲149

6 地区代表者のコメント

○ 囲いわなの設置による捕獲に重点を置いた取組みを行った結果、31頭を捕獲し一定の成果が得られるとともに、地元による見回り回数が増加するなど農家の意識が高まった。

7 今後の取組

○ 依然としてサルは出没しており、被害額の更なる軽減に向け放任果樹の除去の徹底等を図る。